



企画展

「大阪の森と私たちの暮らし」

森は、日本の面積の約7割、
大阪府の面積の約3割（約5万8千ヘクタール）
を占めています。

大阪の森は、北摂、金剛生駒、和泉葛城の三山系からなり、
都市化が進んだ大阪平野を取り巻くかたちで位置しています。

たくさんの生物の命を育み、
さまざまな場面で私たちの暮らしを支えている森は、
一方で、時に大規模な災害が起きる場所でもあります。

この企画展では、森が育む生物たちや、
森が果たす様々な役割、
災害を防ぐための取り組みに焦点をあて、

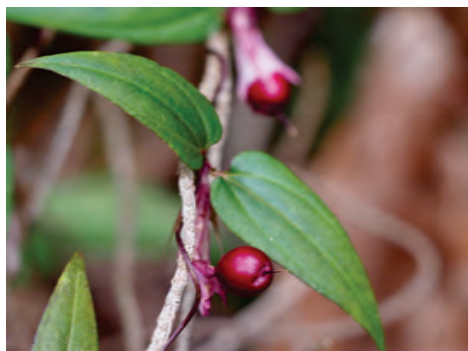
生物多様性センターの調査研究成果を交えながら、
大阪の森と私たちの暮らしについてご紹介します。



もり はぐく いきもの 森が育む生物たち

- 森は、陸上の動植物の3分の2以上が生息する「生物の宝庫」。
- 明るい場所や暗い場所、湿った場所や乾いた場所・・・森の中の環境にあわせて、さまざまな木や草花が育ちます。
- そして木や草花を餌や住みかとして利用する動物たちや、その動物を餌とする動物たちが、森の中で暮らしています。

大阪の森でみられる木や草花



ツルリンドウ



ヤマジノホトトギス



アケビ



ウワミズザクラ



コバノミツバツツジ

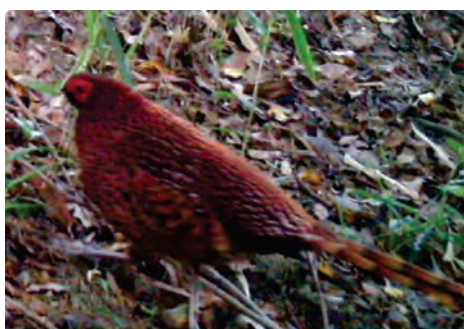


ハナイカダ

大阪の森で暮らす動物たち



ニホンジカ



ヤマドリ



ミヤマクワガタ



山地の森の生物

- 山地には、人が植えたスギやヒノキの森も多いですが、あまり人が使っていない、自然なままの森も広がっています。
- 山地の森に生育する木の種類は、山を登るにつれて寒くなるのに合わせて、どんどんと変化していきます。
- 山地の水辺には、流れが速く冷たい水を好む生物がみられます。

大阪の山地でみられる森のようす

山のふもとでみられる森



シヤカシなど、
常緑の木が多く
て薄暗い森です。



山の上で見られる森



ブナやシデなど、
落葉する木が多
く明るい森です。



大阪の山地でみられる水生生物



カワムツ



タカハヤ



アジメドジョウ
(絶滅危惧Ⅰ類)



アカザ
(絶滅危惧Ⅱ類)



カジカガエル



サワガニ

()内は大阪府レッドリスト2014での指定状況を示しています。

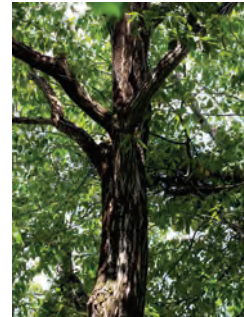
さと もり いきもの 里の森の生物

- 里の森や生物たちは、人々の暮らしと深く関わっています。
- 里の森は薪や炭をとるために、くり返し伐採されてきたため、成長が早く明るい場所を好む植物がよく生育しています。
- 里を流れる川がつながる田んぼやため池、水路などは、さまざまな生物の産卵や子育てに欠かせない場所になっています。

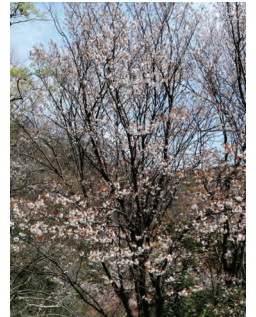
大阪の里でみられる森のようす



落葉する木が多い明るい森です



コナラ



ヤマザクラ

大阪の里でみられる水生生物

() 内は大阪府レッドリスト2014での指定状況を示しています。



ニッポンバラタナゴ
(絶滅危惧Ⅰ類)



タモロコ
(準絶滅危惧)



ドジョウ
(絶滅危惧Ⅱ類)



ミナミメダカ
(絶滅危惧Ⅱ類)



トノサマガエル
(準絶滅危惧)



アカハライモリ
(準絶滅危惧)



大阪の森の昔と今

大阪の森は、昔と今とでは全く様子が違いました。森から木を切り出したり、植林をしたりと、人は森に対して様々な働きかけをして、森をつくりかえてきました。

昔の大阪の森



画像提供：大阪府みどり推進室

昔の大阪の森

- 昭和の初めごろまで、大阪府の山々では、家を建てるための材木や、料理、風呂などの燃料として使う薪を手に入れるため、多くの木が切りだされていました。
- その後、植栽もされずに放置されたため、木がほとんどない「はげ山」が広がっていました。
- そのため、木が手に入らない、大雨が降ると多くの土砂が流れ出て被害が発生する、といった問題が生じるようになりました。

今の大阪の森



今の大阪の森

- 土砂の流出による問題を防ぐため、昔の人々が苦勞して植栽を進めた結果、山は緑に覆われるようになりました。現在の都心部から見える山のほとんどが植栽された森林です。
- しかし、木を植えた後に十分な手入れがされなかったことから、木が十分に成長できずに弱々しく倒れやすい木になっていたり、森の中に光が入らないため、下草が少ない荒れた森になってしまいました。

増える災害

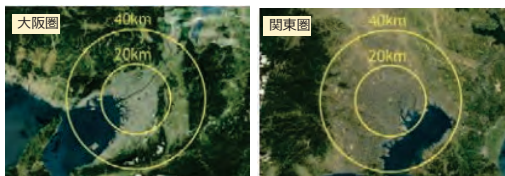


台風により木が倒れ、土砂が流出した森

- 近年、大阪でも大雨に伴う土砂の流出などの災害が頻発しています。
- 手入れが行き届かず、災害に弱い荒れた森が増えてしまったことと、街のすぐ近くまで森がせまり、土砂崩れなどの影響を受けやすいという大阪の特徴も、災害が頻発する要因となっています。



道路へ流出した倒木や土砂



画像：大阪府発行「FOREST & GREEN 02」より

都市圏と比較すると、大阪は森のすぐ近くに街がある



森の近くまでせまる大阪の市街地

もり めぐ 森がくれる恵み

- 森は私たちの暮らしに、たくさんの恵みを与えてくれます。
- 軽い木、硬い木、水に強い木・・・木によって異なる性質は、家や道具など、いろいろな用途に使える木材という恵みです。
- 石油や石炭のない時代には、薪や炭として貴重な燃料でした。
- 今でも山菜や薬などの恵みを私たちに与えてくれています。

木材の恵み



- スギやヒノキなどの針葉樹は、柱にしやすいまっすぐな木材になります。



- 硬くて木目の美しいケヤキは、建築材や家具などに使われています。
- 日本で一番軽い木材のキリは、水に強く断熱性にも優れるため、タンスや琴などに利用されています。

燃料の恵み



台場クヌギ



菊炭を焼く炭窯

- 「台場クヌギ」と言う、いびつなかたちのクヌギは、炭をとるために何度も伐採されたなごりです。
- 切り口が菊の花のような美しい「菊炭」は、北摂地域の名産です。

山菜の恵み



アケビの実

シイタケのほだ木

- 春のタラの芽やコシアブラ、タケノコなどの山菜や、秋のアケビやサルナシなどの果実は、私たちの食卓を彩る森の恵みです。

ね ひょうほん てん じ 根っこの標本展示

- 普段見ることのできない樹木の根っこを観察するために、根っこの標本を作りました。
- 標本は平成30年9月に発生した台風21号で発生した倒木です。

ね ひょうほん 根っこの標本ができるまで



1. つるはしやスコップで根の周りの土を丁寧に取り除きました



2. ウィンチで引っ張って、根を掘り上げました。



3. トラックに積み込んで、生物多様性センターまで運びました。



4. 細かい土を取り除いた後、チェーンソーで半分に切断しました。